

予防に勝る治療なし

人間誰しも人様のお世話にならずに人生を全うしたいと思つていきます。しかしながら、平均寿命から健康寿命を差し引いた介護が想定される期間は、10年と言われているのが現状です。

大崎町では要介護状態となる原因で最も多いのが脳卒中で、次に多いのが認知症です。これらの病気はある日突然やってくるのでしょうか。

ある研究で肥満、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの危険因子の数が多く重なるほど脳卒中や心筋梗塞を発症危険性が増大することが分かっています。危険因子が3〜4個の場合とない場合を比較するとその差は、36倍です。(グラフ1)

これらの病気は、突然発症するものではなく、何年もの間、自分の生活習慣によって引き起こされているのです。生活習慣病は、初期症状が出にくいので、多くが健診で早期発見されています。

6月は、健診結果報告会を開催し、5月に皆さんが受けた健診の結果をお返しします。健診結果をよく見て、その結果から自分の体を知り、『予防できる病気は予防する』ことが大切です。

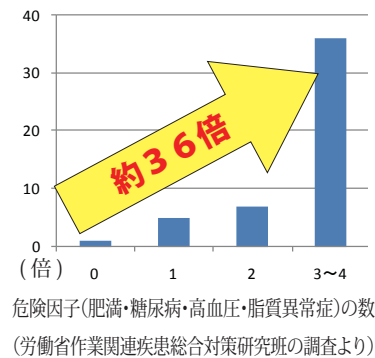
グラフ2から、より多く保健指導

を受けた方ほど、全く受けていない方よりもデータの改善効果が大きくなっています。このことから、保健指導は、糖尿病等生活習慣病の重症化予防に効果があると考えられます。ぜひご利用されることをお勧めします。

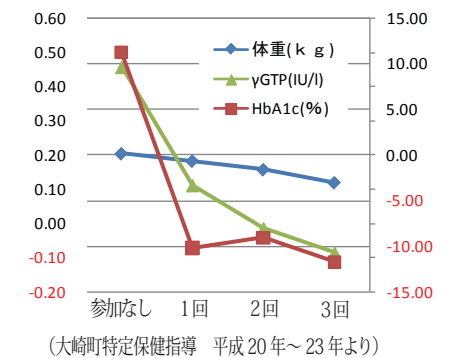


保健師

グラフ1 脳卒中・心疾患発症の危険度



グラフ2 保健指導を受けた回数とデータの改善



消費生活に関するアドバイス

高齢者が支払えなくなるまで次々に販売するSF商法  
—支払い金額の平均は170万円にも!

『SF商法』の次々販売、過量販売に関する相談件数が増加しています。

『SF商法』とは、短期間の間に『閉め切った会場等に人を集め日用品等をただ同然で配って雰囲気盛り上げた後、販売業者の売り込もうとする高額な商品を展示して商品説明を行い、来場者にその商品を購入させる』など、会場の雰囲気や催眠状態となつた来場者に高額な商品販売することといわれています。

しかし最近では、数か月以上と長期にわたつて販売会が開催される中で、無料や安価に販売される日用品を目当てに会場に通い続ける高齢者に対し、販売員が個別に声を掛けて高額な商品の購入を勧めるといった手法も見られるようになりました。

この手法では、長期間開催されているために高額な商品を次々に購入し、支払いに不安を感じるようになってから、高齢者や周囲が次々販売に気付け例が目立ちます。

SF商法での主な契約者は高齢者であり、孤独、判断能力の低下といった、高齢者特有の問題が関係してく

るため、事態はさらに深刻です。支払った金額の平均は170万円にもなり、中には、老後の資金を崩してまで商品を購入する高齢者の例もあります。

【事例】  
・無料の商品を目当てに通つていたら2か月で500万円以上契約していた。  
・4年間にわたり、500万円以上のサプリメントを購入した。

【消費者へのアドバイス】  
・安易に会場に近づかないこと。勧誘されても不要な商品の購入はきっぱり断りましょう。  
・大切な老後の資金を取り崩してまで購入が必要か考えましょう。

※SFは、最初にこの商法を行った業者(新製品普及会)略称に由来。(国民生活センター発表情報から引用)

